

# 🌀プレイセンターにじっこ活動報告書🌀

**親も子も地域も育つ**

**プレイセンター方式 子育て支援事業**

2023. 4～2024. 3



認定 NPO 法人 子どもと文化のひろば **ふれいおん・とかち**



## 1, はじめに

「にじっこが誕生した経緯」について

乳幼児期、親子がふれあって遊ぶことは愛着（心理的なつながり、絆）形成のためにとても大切です。実は、「子育てを支援する」という考え方が社会に広がり始めたのは 1990 年代以降で、私たちの会の中でも、乳幼児期の活動は比較的歴史が浅いのです。0～3 歳ぐらいまでの親子サークルから始まり、2001 年に毎月 1 回あそびのひろばとして定着。毎回スタッフが趣向を凝らしたあそびを設定し、手間暇かけて準備、参加者を募っていました。この間、地域的には公設の子育て支援センターが各所に設置され、無料でいつでも気軽に立ち寄れる場所として一世を風靡していましたが、満足できずに居場所を求めて漂流する親子がひろばにも参加していました。

ある時（2017 年）、子ども環境学会の研究大会が恵庭市で開催され、道内で唯一恵庭市が公設で取り組んでいたプレイセンターの当事者のお母さんたちの発表を聴くことができました。そこで、子育ての本質は、よろこびが感じられ「楽しい」営みだということ。「楽になる」「楽する」に惑わされてはいけない！と気付かされたのです。必要なのは、子どもや子育てについて学べる機会や、親同士が支え合い信頼し合える仲間関係。それを、親自身が協力し合い自分たちの力で運営するプロセスの中で培っていくことなど、共感ポイントが満載でした。子どもと一緒に自分や家族も成長できる場、仲間と一緒にみんなが育ち合える場。「共に育ち合う」を掲げる私たちの会に、これ以上びったりくる活動はない！と震える思いでした。元来、私たちの活動は、子育ての当事者が手を携えながら、協力し合って子どもたちの成長発達を支えてきた歴史がありましたから、子ども・子育ての文化をしっかりとつなげていきたい！と背中を押され、プレイセンター設立へと向かっていったのです。子育て支援の潮流だった「お客様体質」を見直すきっかけにもなったのです。さて、みなさんはいろいろな人の力を借りながら、自分の子育てを愉しめていますか？

理事長 今村 江穂



## 2, 事業概要

プレイセンターは、“家族と一緒に成長する”という理念のもと、ニュージーランドで 60 年以上の歴史を持つ「親たちによる幼児教育の活動」。子どもも親も楽しみながら共に成長していくことを目指し、0 歳から就学前までの子どもに「自分で選ぶあそび」を、親に「親のための学習」を提供し、子どもと親の両方を支援する。

### 《あそび》

“あそび”という言葉は、プレイセンターでは子どものあらゆる自発的な活動を指す言葉として使っている。子どもはあそびを通じて、感情や想像力を発達させ、言葉を覚え、友達を作り、世界について学ぶ。プレイセンターでは、子ども自身がやりたい時にやりたいあそびを選ぶことができる。

### 《親のための学習》

親がプレイセンターの理念を学び、子どもたちのあそびをサポートするために必要な知識や方法を身につける。誰もがみんなに役立つ何かを持っているという考えに基づき、お互いの経験や感情を持ちよる、参加・協力・実践型の学び合いの場である。

### 《プレイセンターの運営》

プレイセンターは親たちによって運営されるが、無理なく楽しく進められるよう、子育て親育ちに関する専門知識を学んだスーパーバイザーがサポートする。参加するすべての大人が協力し合い、みんなで場づくりに関わることを目指している。

## 【プレイセンターにじっこ】

日時：毎週水・金曜日 10:00 ~13:30

会場：ぶれいおん・とかち  
帯広の森・はぐくむ 他

対象：未就学児の親子（会員制）

会費：月 1,100 円

※非課税世帯は半額

※ぶれいおん・とかちにも同時入会



## 【あそびセッション】

サポーター支援のもと、親が子どものあそび環境を整え、遊ぶ様子を観察し、終了後にふり返しを行う

### ○やまざと幼稚園での研修

通常の活動で大切にしている「コーナーあそび」の意義や方法を学ぶために実施。実際に設置されているあそびのエリアを見学しながら、コーナー保育（子どもが自分であそびを選べる）の可能性を感じることができた。研修後は「あそびコーナーの準備」への意識が高まり、積極的に関わるメンバーの姿が見られた。（協力：北明やまざと幼稚園）

### ○森の日@帯広の森・はぐくむ

月に2回、はぐくむ周辺で遊んでいる。今年度は、計3回はぐくむの職員の方にご協力いただき、自然の中で遊ぶ際に注意すること（スズメバチの対策・ウルシのことなど）や森についてのお話を伺いながら一緒に散策をしていただく機会をつくることができた。学んだメンバーが参加できなかったメンバーに情報をシェアしながら、森の活動への理解を深めた。（協力：帯広の森・はぐくむ）

### ○家ではできないあそび

「絵の具あそびは魅力的ですが自宅でするには勇気がいります。ぶれいおんで、できるのは毎回楽しいです」というようなメンバーからの感想があるように、自宅では…子どもと二人きりでは…とためらわれることも、にじっこで仲間とだから楽しめるということが沢山ある。また、「はないちもんめ」など、大勢でやるからこそ楽しい遊びも取り入れて、親子で面白さを味わっていた。

### ○毎回のふり返し

あそびの後に、みんなでふり返る時間を大切にしている。トラブルがあった時にはどんな対応ができたかを共有したり、他にはどんな対応が考えられるかを全員で考える時間となっている。例えば「物を壊そうとする」や「手が出てしまう」という場面があった。情報を共有することや全員で考えることは「子どもをみんなで見守る」ことにつながっている。





## 【協働運営】

参加するすべての大人が協力し合い、みんなで場作りに関わることを目指している

### ○みんなで環境作り

遊び場の準備から片付け、ふり返りまでをメンバーみんなで行った。

### ○代表制

4ヶ月交代で3名程のメンバーが「代表」を担当する。ふり返りの進行をしたり、月に1度の代表会議で活動内容や気になることなどを話し合う。サポーターとメンバーの掛け橋としての役割を持つ。1人だけに負担がかかりすぎないためのチーム制、交代制となっており、「今年は代表も経験し、企画する側になり更に深くにじっこを知る事が出来てとても良かったです。お客さんではなく、それぞれが強みを活かして参加し運営していくのはとても良いと思います。」という代表の声もあった。今年度も代表がスムーズに決まり、前代表から次の代表への声かけも上手く行っていた。

### ○預かり合い

月に1度、メンバーの子を1人預かり、みんなで見守り合う。

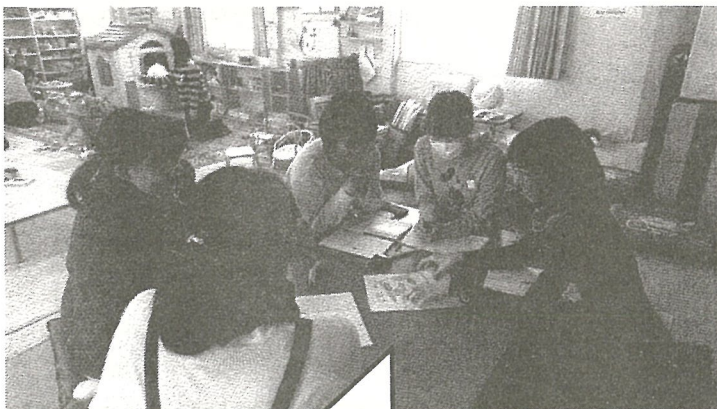
「子どもを預ける、預かるハードルを下げ、1人で子育てしない練習をする」ことが目的。

「にじ（にじっこ）はMくんが大好きな場所で、安心できる場所だからこそ、今日も、行く！と決めてくれたんだな、そして一生懸命頑張って乗り越えたんだな、と。小さなチャレンジャーをみんなで支えてくれて、ありがとうございました。私も新たなMくんの一面をたくさん聞かせてもらって、とても嬉しかったです。」

という預けた親の声もあった。

### ○絵本の読み聞かせ

子ども達が絵本と触れ合う時間として、お昼ごはん前にメンバーが絵本を選んで読んでいます。今年度は、さらに季節のうたやわらべうた、手遊びうたを取り入れて、一緒に楽しむことができた。

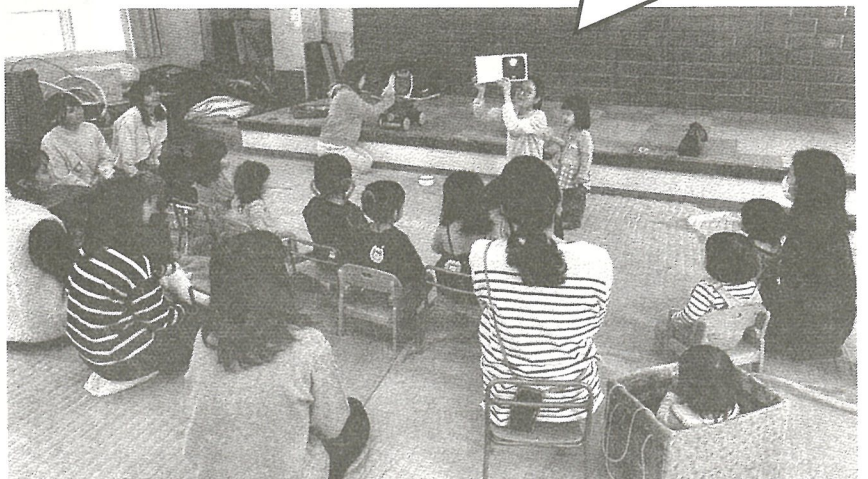


#### 【読み聞かせの様子】

読み聞かせはメンバーの自主性を大切にしている。絵本を読むのは“好きな人ができる時に”が基本だが、毎回継続するために代表メンバーが工夫しながら取り組んでいた。

#### 【代表会の様子】

代表メンバーが話している間は、その他のメンバーが全員の子どもを見守りながら遊んでいる。代表会は、メンバーとサポーターの声を聴きあう大切な時間である。





## 【松岡先生の子育て相談会】

実施回数 3回／参加人数 5月-9組、7月-4組、2024年3月-27組

幼児教育専門家の松岡公代先生をお招きして、座談会形式の相談会を実施。2グループに分かれ、子どもたちは託児し合う。

助成を受けている期間（2023年3月まで）は2カ月に1回の頻度で実施していたが、子育て相談会の主旨についてメンバーに丁寧な説明ができていないことによる参加者の減少や財源不足などにより、2023年4月以降は回数を減らして年3回の頻度で実施した。

幼稚園にあがるタイミングなどニーズはあるので、頻度を調整しながら継続していきたい。

## 【子育て講演会】

「赤ちゃんの日」事業として実施した「スマホと子育て/子どもとメディア公式インストラクター 中谷通恵氏」、「いのちのはなし/助産師 山本文子氏」に参加する機会などもあり、にじっこでは特に講演会実施は積極的に行わなかった。防災講座の要望は出ており、実施に向けて調整中である。助成金の財源がないため、参加費設定など検討が必要になっており、スムーズにいかない苦労もあるが、メンバーやスタッフの経験値につなげたい。

「いのちのはなし」山本文子氏の講演会の様子



↑司会をするメンバー。同じ仲間が活躍する姿に、会場も和やかに。

司会や受付などはサポーターだけではなく、積極的にメンバーに協力してもらいます。



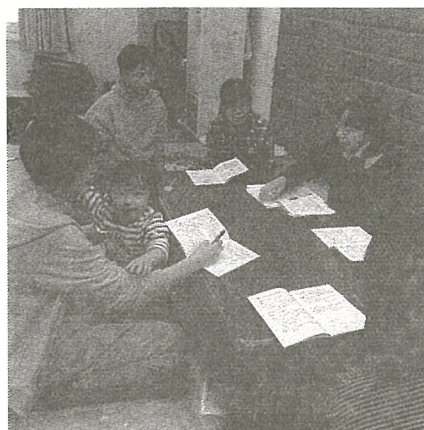
**学び合い：** サポーター支援の下、月に1度、プレイセンター協会発行のテキストなどを用いて、子育てやプレイセンター運営に必要なことを学び、語り合う時間。

| 月   | 内容                    | 担当 SV | 参加組・人数    |
|-----|-----------------------|-------|-----------|
| 4月  | センター運営に必要な実践的技術（テキスト） | 宮田真理子 | 5組・11人    |
| 5月  | リーダーシップについて（テキスト）     | 宮田真理子 | 11組・23人   |
| 6月  | 子どもの行動を考えてみよう         | 織田麻衣子 | 9組・18人    |
| 7月  | 実習①子どもの観察実習           | 宮田真理子 | 4組・9人     |
| 8月  | 実習②子どもの施設訪問（やまざと）     | 宮田真理子 | 5組・14人    |
| 9月  | プレイセンターの理念（テキスト）      | 宮田真理子 | 9組・19人    |
| 10月 | 日本におけるプレイセンター（テキスト）   | 宮田真理子 | 11組・22人   |
| 11月 | プレイセンターのあそび（テキスト）     | 久保 美香 | 11組・22人   |
| 12月 | 実習③あそびのワークショップ        | 宮田真理子 | 11組23人    |
| 1月  | 子どもの権利                | 宮田真理子 | 14組28人    |
| 2月  | 子どもの安全と衛生（テキスト）       | 宮田真理子 | 8組17人     |
| 3月  | —                     | —     |           |
| 合計  |                       |       | 11回延べ206人 |

- **コミュニケーション** 自分の経験や思いを言葉にして語り、人の話に耳を聴けることで、相互理解が深まっている。
- **共通認識** 子育てで大切にしたいことなど確認することで、共通認識を持って活動できる安心感が生まれている。
- **学びほぐし** 色んな人の話を聞くことで視野が少し広がり、自分の子育てをふり返るきっかけにもなっている。
- **子どもの観察実習** 目の前の子どもを観察することで、その子のニーズを理解し、より良い遊び環境を考える練習ができています。
- **預け預かる練習** 2グループに分かれて子どもを託児し合うスタイルを取っているため、他の大人にわが子を預ける練習の場にもなっている。子どもが泣いても仲間を信頼して預けてみる挑戦を重ね、少しずつ「孤育て」から「群れで子育て」ができる人間関係、コミュニティづくりを目指している。
- **スタッフの学び合い** 昨年まで学び合いの担当スーパーバイザー1人体制であったところ、今年度は+2名のサポートスタッフにも加わってもらい、互いに観察しフィードバックする試みをした。元メンバーだからこその視点で語れることや、同じテーマでも重きを置くところが違う等、お互いに学び合えサポーターチーム力アップにもつながった。



日本プレイセンター協会のテキスト



←学び合い風景



↑ 託児風景



# 親のまなびレポート

実施日：2023/5/31

テーマ：リーダーシップについて（テキストp.21-22）

担当：まりこ

## あなたが過去いいなと思ったリーダーってどんな人？

### 職場の上司



- ・新人が学生時代のギャップに苦しむ自分をずっと支えてくれた。
- ・不調の時、自分より先に察して声をかけてくれたので、石を投げずに済んだ。
- ・どんな立場の相手にもビシッとものをいえる人。いつか自分もそんな風になりたい。小童木さんの存在が良かった。



- ・やさしくしゃべる
- ・包容感がある
- ・進む方向をしっかり示してくれる。
- ・仕事では「見るポイント」を教え、くわ、あとは自分の裁量でやらせてくれる
- ・足りないものを把握できる



- ・新人の愚痴を聞いてくれる
- ・難しい先輩との隔りに入り、後継者になってくれている
- ・意見が通りやすくして、仕事を色々やらせてくれたので、（人）でできることが増えた
- ・退職後、後をわからずよいことかあると相談にのってくれた

### 先生



- ・集団の1人1人を見てくれる。
- ・その子がいよいよ良くなることを本人以上に信じてくれている



- ・引き出しを120持、212も50-60で過ごしている
- ・「東問のある人」
- ・決して押し付けず、状況や相手に合わせて引き出しを出してくれる

### バイト先の先輩



- ・毎週2人がずいぶん（生）気よく手を貸したり、（生）きている人に相談を言、（生）まじで（生）...
- ・期間中で、頼みやすい
- ・誰か1人ほのぼのさせない
- ・年齢を超えて人と接する

### テキストより

①リーダーシップとは？ → 目標に向かって物事を進めるいくこと。

### ②リーダーシップのスタイル

- ・独裁的リーダーシップ
- ・無干渉主義リーダーシップ
- ・民主主義的リーダーシップ

→ エマージェンシー・リーダーシップ

Playcenter  
目指すのはこれ！

× 1人1人がリーダーシップの責任を持つ。それ以外のスタッフや能力カバリングでカバーされる。

## あなたはにじいどどんなリーダーシップを発揮している？

- ① 仲良くなる。→ 話しかけてみてその人を知る。自分のことも知ってもらう。
- ② みんなが意見を出しやすいように... お菓子を準備する
- ③ あそびの言葉いや、困った時のヘルプ要請などにじいLINEで発信してる。
- ④ おすすめスポット（食事、遊び場）を紹介する
- ⑤ 小情報提供の場を作り、自分がまず率先して話す。
- ⑥ 絵本を語る
- ⑦ （段ボールを出す等）子どものことを考え、思いついたことで動いている

その他にも...

相づちが上手！ 質問力がある！ 共感力あり！ 居てくれるだけでみんなが

話しやすい雰囲気... etc. 皆、色んなリーダーシップを発揮していることか

わかったよ。人のいいところを見つけて伝えてくれるのも、リーダーシップ♡

## 感想エッセイ

皆から色々なタイプのリーダーの話が聞けて、自分の中のリーダー像が広がった！

にじいLINE入り、必ずしも1人のリーダーが引張ったり、決めたりせずとも、それぞれ持ち場を活かして、役割を担ってその場その場で活躍していくことで、とても楽しくいことを実感している。みんなの話が聞いてそれを再認識した。



# 親のまなびレポート

2023年7月28日(金)

## 「子どもの観察実習」

担当: マリコ

### 目的

子どものニーズを知ろう!

方法: 5分間観察して記録

#### いおりくん(0才11ヶ月)

- ・ぬいぐるみを抱えて歩く
- ・おうちの窓から中を見いて「あー」と言う。
- ・ハイハイから立ち上がる。
- ・窓の閉め開け。
- ・テレビのリモコンを出したらすぐに寄ってきて玉をつまんで置くことを繰り返していた。

(気づき)

- ・立ち上がるのが楽しみたい
- ・部屋のセツに何かがあるかを知っている
- ・色々な物の音、重さ、材質をカニンしている
- ・小さな玉をつまんで置く→手先が器用なな

by かえで

#### ぎのちゃん(1才5ヶ月)

- ・ひさきちゃんのやきこをじっと見つめる。
- ・いおりくんのやきこをじっと見つめる
- ・指差して「うーうー」と言う。
- ・かしわくんを指差して「にいにい」と言う。
- ・みつくんのやきこを見て指差す。
- ・おうちの中にいるいおりくんを見る。

お人形を「あっちゃん」(あかちゃん)と言う。

(気づき)

色々な子を見て遊んでいるんだなと分かった。

by しほ

#### ひさきちゃん(1才9ヶ月)

- ・右手に木の小さな車輪、か、左手におやんを持ち、入れようとする(おやん斜めにならな滑り落ち)
- ・車輪、かを持ち、こちらをふり向いて見せてくれる。(まほうまじ)
- ・車輪、かを持ち、乗ろうとする(まだ難しい)
- ・本音をきくのか
- ・手にしたものを見せてくれた時、「ありがとう」と言、てこちらを指を出すと、それを渡してくる。何も言わない。おやんを入れる。
- ・相方から谷川のおもちゃを取ろうとする。
- ・大きな車輪、かのおもちゃ、外すの難しそう。→本質に傾いて外していた!
- ・両手に持つてカチカチ鳴らす。

(気づき)

傾きに大人と積極的にコミュニケーションをとっている。

by マリコ

#### みつくん(2才9ヶ月)

- ・小麦ねんど、道具を使って、しゃべりながら遊ぶ。
- ・フォークで氷をすく。
- ・いんにくマッシャーを氷に浸す
- ・その形状(肉肉部)からロバシを連想し「ロバシでけこ〜」と母に報告に行く。
- ・ボウルの氷を別の容器に移す
- ・最後の一滴まで出す
- ・ボウルを化けて移動していた。
- ・コップに移す時はこぼれないようにゆっくりしていた。

(気づき)

何かをイメージしながら遊ぶ。

いいねい。わの加減できる

by かおる

#### かしわくん(3才5ヶ月)

- ・ねんどを混ぜ混ぜして「あつな」を。
- ・車のバスシをやり、最後「2コ足りない」と。
- ・おまじとコーナーで花びらの赤と白を使い「梅干し、いくら」とおまじを作っているようにした。
- ・赤い花びらをがシャシャ振って「梅干し焼いている」と。

(気づき)

たくさん作る〜!

・小さな子を見る目が優しい

・キッチンに立つママのことをよく見るのかな

by (中村)ひとみ

### やってみたい感想

- ・いつもは子どもの遊ぶ様子を横目で見て感じだけ。じっと見ることで分かることがある。
- ・最近、ぎのちゃんは何がしたいのかな? と思っていたけど「色々な物の様子を見て遊んでいる」と聞き、「今はそういう時期なんだな」と分かった。(かえで)
- ・いおりくんが「カニンしている」と言われて、そうかも! と思えた。家でもドアノブが好んで触れているけど、あれもカニンしているんだな。(かおる)
- ・1人の子を観察していると、もう1人も見えてくる。お友達とかかきわりの中で、こういう動きをするんだ、と見えてくることあり。複数で遊ばせることの意味を実感できた。
- ・5分間でこれだけのことをしているんだから、1にじで遊ぶ1時間半で1体満足していること見ると...



マリコ

・次は我が子の観察をやってみよう!

スゴイよね!!!

・子ども達のニーズと好きなことが分かったら、遊びコーナーづくしの参考にしよう!



## 親のまなびレポート ～ やまざと幼稚園見学「コーナーあそび」学習 ～

協力：村椿先生

### 狙い

にじっここの活動は毎回「あそびコーナーを準備する」ことからスタートします！が、みんな意識できてるかな？コーナー作れてるかな？・・・そもそも、コーナーを作ることにはどんな意味（意図）があるの？？サポーターだけでなく、ママたちみんなで意識的にコーナーづくりを進められるようになったらいいな♪という思いから、コーナーあそびを実践しているやまざと幼稚園訪問を企画しました^^ by みか

----- 参加者の感想より -----

### \*やまざとコーナーあそびのエッセンス\*

- ・ 【ごっこあそび】、【制作あそび】、【机上ゲームあそび】、【構造あそび】の4つのコーナー＋絵本のコーナーを設けている。
- ・ 部屋を4分割（柵を仕切りに使う）・・・あそぶスペースの確保と部屋を走り回らないように
- ・ 子どもがあそぶ様子を見ながら、おもちゃ（コーナー）の入れ替えをする。（使っていないおもちゃが増えた時は片付けの声かけをし、ぐちゃぐちゃにならないように）
- ・ 制作、ディスプレイは季節感も大切に。

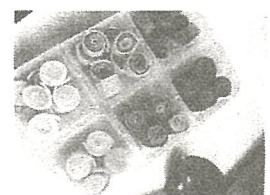
他にも、自然の素材を活用  
・ たくさん整理整頓、おもちゃの数も数える

### \*コーナー保育の意義\*

- ・ コーナーが分けられていると子どもがあそびに集中しやすいそう。
- ・ 子どもが自分の興味関心に従って“選ぶ”ことができる。
- ・ 小さなコーナーを設けることで子どもらがやりたい！というエネルギーで自然と集まってくる。
- ・ 集まったメンバーの中でいろんなことが起こる。学びが広がり、社会性も育まれる。
- ・ ごっこあそび～制作コーナーへコーナーを渡り歩きながらつなげていくことで生活を再現できる！

### \*にじっこでできそうなこと\*

- ・ 4つの基本コーナー【ごっこあそび】、【制作あそび】、【机上ゲームあそび】、【構造あそび】＋絵本コーナーを真似してみる。仕切りは、柵（倒れやすいので注意）やミニテーブルが使える。
- ・ 到着したらその時いるメンバーで「今日は何する？」を合言葉に、「最近うちの子こんなことしてるよ～、この間あの子はこんなことに夢中だったよ～」と語り合いながらコーナー設定したら、楽しそう！





② 親のまなびレポート ②

2024年1月24日(水)

“子ども”の権利”

相当: まりこ

## ● 基本知識

二 子どもの権利条約  
／ ／ といふ？

- ・ 18歳未満の
- ・ 世界中すべての子どもたちへの持つ人権を定めた条約
- ・ 提案したのはポーランドで
- ・ 1989年11月20日 国連総会で採択 → 翌年発効
- ・ 締約国・地域は 196
- ・ 日本は 1994年に批准 (世界で158番目)
- ・ ようやく「子ども基本法」が成立 (2022年、翌2023年4月施行)

至此以后30年后

● かんたんに

聞いてみた！

子どもたちのために

「いるもの」

- ・衣食・住 ・遊ぶ場所 ・学ぶ機会 ・家族(親)
- ・安心できる場所 ・医療 ・愛情 ・タッチ
- ・命のある食事 ・想いを伝えられる相手
- ・自分のことを知る機会 ・見守りの目 ・ぬくもり
- ・イヤ、と言える自由 ・思いきり遊ぶ時間 ・勉強する時間

「いらないもの」

- ・ 過干渉
- ・ スマホ
- ・ 暴力
- ・ 犯罪
- ・ 戦争
- ・ 強制労働
- ・ ひどい言葉
- ・ 比較
- ・ 過度な期待

●「子どもの権利かるた」  
を聞いて思ったこと

・「男の子が家事を手伝うのもあたりまえ」…これ大事。子どもの権利、  
ためにいけば大人の社会で男女の役割の割りこみは根深い。  
難しい…。

の1は難しいよね。でも、まずは大人から学んで、次の世代で「政治リマエ」にしていくしかないよね。

- 「どの傷から回復するためにケアを受ける権利」... こんな権利もあったんだ。先日、周りの子たちをことごとく傷つけて(もう男の子がいて、その対応に大人を悩ませていたという話を聞いたけど、その自身、きっといじめに傷があって、それをケアされる権利もあるんだよね、と思った。
- 「めいっぱい遊ぶことも権利」 - 日本にもたくさんのお習い事に行かされて、遊ぶ時間がない子もいるね... 習い事、初めは本人がやりたいと言っていて始めにけれど...。
- 「逃げたっていい。逃げることも大切」... いじめられたら、「やり返せばいい」とか言っちゃってたよね...
- 「愛の子じゃないよ、これが正しい個性」... 日本で、人と違うと良くない、と思われるよね。他に違う子を「あの子は陰気な子じゃない」とか言って差別する意見、自分も構っているよ。

こんな問も出てきたよ

— あなたはどう思う?! — (参考条文も見てね)

- ・ お兄ちゃんにはゲーム、Youtube 大好き。好きなことを尊重したいけど、どこまで許容するか小人数にいる。
- ・ 「よい子」で言いかつ決めるの？ → よい子、で言葉を使わない方がいい？ (良い、悪いはいいに思ってる)
- ・ 華見の宗教で子とその権利が奪われること。その場合、言いかつどうやって守ることか？ (よい子)

第<sup>7</sup>条【子ど<sup>ろ</sup>と<sup>も</sup>に<sup>も</sup>と<sup>も</sup>よいことを】

子どもに「男」係のあることを言うときは  
子どもにとって「最もよいこと」であり、  
第一に「男」を「よいこと」として教える

第十四条【思想・良心・宗教の自由】

子どもは 思想・良心・宗教の  
自由についての権利を  
もっています。

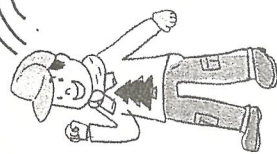
第2条【差別の禁止】

人種、性別、宗教、障害、貧富の差、  
考え方や世に於いて差別が与えられてい  
る権利を認めています。



# 森のおさんぽ

① 帯広の森・はぐくーせ!  
 日月さんと一緒に森を感じよう!!  
 自然の奥みや森での危険対策について  
 教えていただきました。全てじゃありませんけど、ポイントまとめ!



子供と一緒に蜂が  
 近寄ってきたら

蜂が近寄ってきたら  
 静かに止まって  
 通り過ぎるのを待つ!



蜂が集団できた場合は  
 静かにその場を  
 離れましょう!

刺激 攻撃 はNG!!!

近くにスズメバチがいたら×  
 じっと 静かに待とう...!!  
 (☆お話を聞いたメンバ―がまとめてくれました♡)

※大人が抱きしめるのも一つの方法

五感

魅力

変化

生命

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもしっかし

危険を知って  
 つきあおう☆

はぐくーせでは、  
 たい場所をを確認  
 しておこう!!

△うしろ

かぶるよ

長袖&長ズボン  
 ツルツルした服装!!  
 月肌を出さない

△マダニ  
 かまいたら皮膚科へ

に"こて"  
 森の日は  
 準備もけりね!!

リスクを減らすために  
 自然をおもいきり楽しめたい  
 服装(装備)がとっても大事!!

どこにでも行ける  
 こころで"楽しめ"る  
 ケガをしにくい、見通しがよく

雪は最強



の楽しみ方は無限の  
 歩く、ぶみしめる、のぼる  
 すべる、ほる、うめる、たが  
 ねこ38、つくる、あそぶ...

防寒対策を  
 しっかりして  
 let's  
 enjoy!

想像力  
 創造力  
 応用力

変化

時間季節や天気...  
 いつも違うね!!  
 「平ら」たってほんとにない

生命

生き物=生命  
 生命との出会い  
 生命の理解へ...

おさんぽ

歩くって、止まるって書くよ

歩いて進めただけじゃない。

...止まる時間が、昔々歩を

豊かにしてくれる



△ハチ



△エモ/ゴックス  
 まつねみフンに  
 さわらない!!  
 手洗いもし

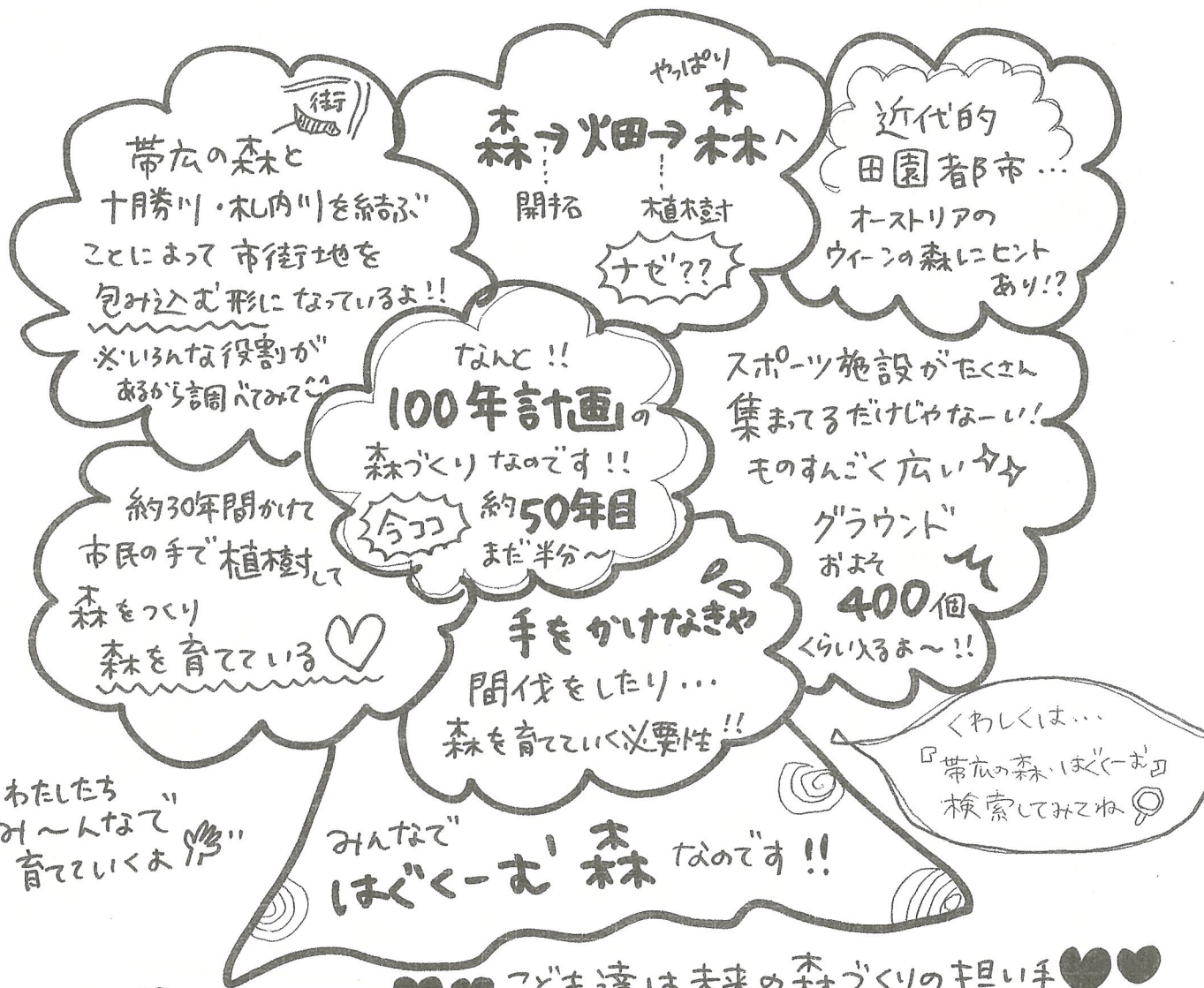




オビヒロノモリ

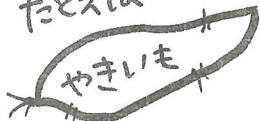
# 帯広の森って???

※『帯広の森・はぐくむ』は、帯広の森の育成管理・利活用の拠点合



♡♡♡ 子ども達は未来の森づくりの担い手 ♡♡♡

たとえば...???



火をおこすために木をひろう

☆立派な森づくりの一環

枝をひきながら 森を歩く・森に親しむよ



木木とかかわりをもつ

☆森を知る・口もち→森に関心・森を好きになる♡



ふれいおんでは...

にじつこの活動の他に“あしあとの森”の活動や  
森のこどもらんどで木木とかかわり、楽しんでいます!!

自然や生き物  
とふれあうよ

森の  
癒し効果

多世代が  
集う場所

季節を感じる

解放感

個人的に  
感じている  
森の魅力♡  
by.クボ



## この1年間に行われた活動の一部

- 4月 ・ 帯広市市民福祉部こども福祉室室長・佐藤さん遊びに来る（視察）  
 ・ 「子育てで大切なことってなんだろう？」トーク会  
 ・ おすすめ絵本の紹介会



佐藤さんと一緒に

- 5月 ・ 砂あそび

- 6月 ・ 大山緑地へ遠足  
 ・ シャボン玉あそび  
 ・ 日月さんと森歩き(春)



大山緑地へ遠足

- 7月 ・ 日月さんと森歩き（夏）  
 ・ 国際交流：モンゴルのアリウナさんと遊ぶ

- 8月 ・ おにぎりの会  
 ・ ボディペインティング  
 ・ 夏祭り出店・参加  
 ・ やまざと幼稚園「コーナーあそび」見学＆村椿先生のお話

アリウナさんから  
モンゴルのあそび  
を教わる



- 9月 ・ グリーンパークに遠足  
 ・ 折り紙遊びと工作コーナー  
 ・ ジャがいも掘り（大平原交流センター）

- 10月 ・ にじっこ総会  
 ・ 「山本文子さんの話を聞いて」性教育トーク会

- 11月 ・ 葉っぱアート in はぐくむの森  
 ・ おにぎりともそ汁の会  
 ・ JICA へ遠足

にじっこ総会



ボディペインティング

- 12月 ・ ゆるりクリスマス会

- 1月 ・ 日月さんと森歩き（冬）

- 2月 ・ 節分あそび

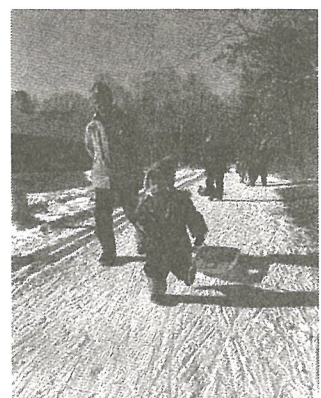
- 3月 ・ めでたいな会

その他  
 ・ あそびセッション  
 ・ 森の遊び  
 など

計 92回実施  
 延べ 1,772人参加



おにぎりともそ汁の会



日月さんと森歩き(冬)



## 【1年間の活動を終えて～サポートメンバーより】



織田麻衣子（まいこちゃん）

『にじっこ』のメンバーだった私が、今年はサポーターという立場として、メンバーが居心地よく活動に参加できているかな？と気にかけてながらも、私も思いっきり楽しませてもらえた1年でした。

かつての私は、子育てに孤独を感じていました。『にじっこ』に出会い、大人も子どもも遊びを一緒に楽しみ、親同士が共に学びあうという、みんなで子育てする経験を通して、家族のような温かさ、安心できる居場所ができたことにホッとしたのを覚えています。そんな『にじっこ』に今年も関わることができ、みなさんに感謝しています。

サポーターとして関わらせていただき、「にじっこ（プレイセンター）」とは？…と改めて考える時間になりました。サポーターとして、日々の活動をプレイセンターの理念に照らし合わせながら舵取りをするのが大事な役割であるということは、後半になってようやくわかってきたことです。「親子で成長する場所」って、とっても奥が深いなぁと感じました。にじっこで出逢うお母さん方が日ごとに関係を深めていき、みんなで関わりあいながら子育てを楽しんでいる様子を見られることは自分にとって学びにもなりました。子ども達だけではなくお母さんの笑顔も溢れるにじこの場は、未来への希望だと思います。「にじっこ」の価値をしみじみと感じていました。



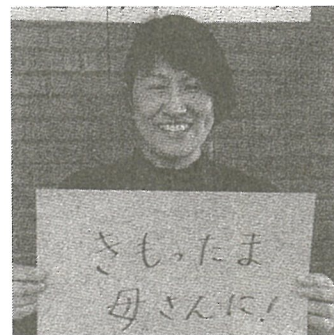
久保美香（みかちゃん）



スーパーバイザー  
宮田真理子（まりちゃん）

プレイセンターにじっこの設立から6年目を迎えました。この間、多くの親子がにじっこを巣立って行き、そして新しい親子がやって来ています。私自身、この活動を飽きることなく継続できているのは、かわいいお子たち、色んなお母さんたちとの出会いを楽しめているからだと思います。あそびの時間に子どもと一緒に遊ぶと、その子のことを知ることができ、仲良くなれます。親のための学び合いの時間では、1つのテーマについて1人1人が語ることで、お互いをより深く知り、多様な価値観があることを学べます。プレイセンターでは、「親子で/家族で一緒に成長する」をスローガンとしています。子どもはすごいスピードで身体も能力も成長していきます。子どもと一緒に親も成長していくにはどうすればいいのか？ぜひ、みんなで一緒に考えたいテーマです。共にこの場を作ってくれている仲間と活動をサポートしてくれる事務局の皆さんに感謝！！

今年度は、なかなか活動日に参加することができませんでした。そのために、メンバーとの丁寧に関わる時間や、子どもたちと交流する時間を作れなかったことが、私の反省です。地域の子育て環境を調べていても、にじっこの活動は年々ますます大切になってきていると感じます。親が学び合うこと、子どもに最善の利益が保障されること、人と人とがつながること、これらのことが大切にされる社会であるように、にじっこやぶれいおんのチャレンジはこれからも続いていきます。私もまだまだ成長の道半ばです。



スーパーバイザー  
嶋野奈津美（なっちゃん）



## にっこ参加者 まとめのアンケート

### あそびセッション

・2023 年後半は遊びの場を意識して設定することができて、子どもたちがどんな遊びに興味を持つのか、どんな準備をすれば良いのか、みんなで話し合ったり考えたり、家から持ち寄ったりしながら工夫ができて良かった。

・印象に残っているのは、みんなで【はないちもんめ】をした事です。大人がまず、大笑いしながら全力で楽しんで遊ぶことで子ども達にも楽しい雰囲気が伝わり、最終的にみんなで一緒になってとても盛り上がりました！親も子もみんなでひとつになって【楽しい気持ち】を共有できて素敵な時間でした♪

それから、おにぎりと味噌汁の会も楽しかったです。普段なかなか白米や味噌汁が進まない我が子も、おかわりして夢中で食べていました。みんなが親戚のように温かくわいわいした雰囲気の中で、とってもしあわせな食卓でした。自分達家族だけでは出来ない経験をたくさんさせてくれるにっこには日々大感謝です。

・会員同士が同じ認識を持って子供達の遊びを見守ることができる環境なのがとても心地よく、私の学びにも繋がっています。

・楽しく遊んでいても、おもちゃの奪い合いやケンカをしてしまったり、時には相手を叩いてしまうことがあります。その度ににっこではどのように子ども達と関わるかを話し合ってきました。

・先日、同じ学年の男の子同士が喧嘩を始めたのですが「怪我につながらなければ止めないで見守る。最後までやらせてあげる」と皆で決めていたので、保護者はハラハラしながらもじっと耐え、喧嘩の様子を見守っていました。よく見ると殴る素振りはあるけれど相手に当たらないようにしていました。やがて2人はスッキリしたのか大爆笑して無事喧嘩終了。「こういう和解の仕方があるのか！」「喧嘩の時に相手を叩かなかったのは叩かれる痛みが分かっているからなのかな？」と様々な感情と考えが湧いてきました。喧嘩を途中で止めていたらこのような気づきも「子どもを信じて見守ることができた！」という小さな成功体験を積み重ねることができなかったと思います。

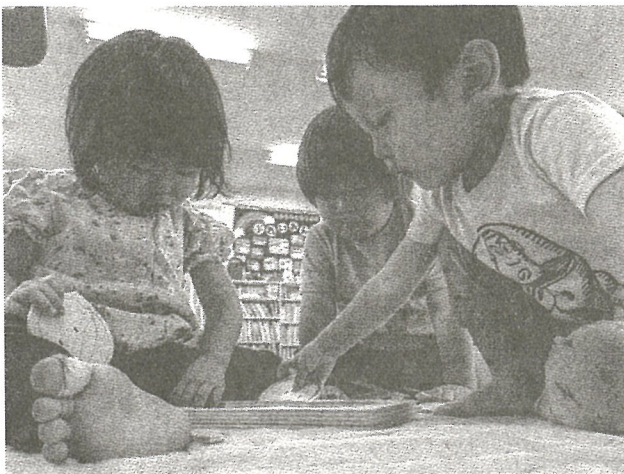
・ボディーペイントや小麦粉粘土、泥遊びなどつついっ汚れることを気にしてできていなかったけれど、子どもが生き生きと遊んでいて汚れは勲章と学びました。

・絵本、制作など色々なコーナーがあり毎回子どもたちが自分で選んで遊ぶことができていいなと思いました。

・入会して一年になりますが、一年で子どもがさまざまな表情を見せるようになりました。喜怒哀楽。いろいろありますが、自分の気持ち表に出しても受け止めてくれる場があることで、安心したんだろうと思います。同様に母親も自分の気持ちを出して、泣いて笑っても受け止めてもらえる場があることで、たくさん大変なこともあります。でも楽しめる余裕が生まれました。

・やまざと幼稚園へコーナー遊びを学びに行ってから、大分変わったように感じています。早い時間に来た人がコーナーの準備をしてくれ、子ども達はあまり使われてこなかった遊びをしたり、大人の遊びに対しての意識も上がった気がします。

・コーナー遊びは子どもの自発的な遊びたいを引き出せて、親としても子どもが興味を持っていること知ることができ、成長が感じられる素敵な方法だなと感じました。





## 学び合い

- ・プレイセンターの役割を聞く中で、自分たちができることややりたいことを再確認できて良かった。近況や子育ての何気ないことを交流する時間も貴重でした。継続したいです。
- ・学び合いの時間では、まず子どもを預けて大人たちだけでゆっくりと会話が出来るのがありがたいです。プレイセンターについて詳しく学んだり、自身の経験をみんなで伝え合ったりすることでお互いのことをより深く知れるきっかけにもなり大好きな時間です。
- ・学び合いは「学びグループ」と「託児グループ」に分かれて行っているのですが、私が学んでいる間、娘がどのように過ごしていたかをメンバーから聞くのを毎回とても楽しみにしています。
- ・学び合いの日に、絵の具でお絵描きをするコーナーが作られていたことがありました。私は娘は汚れることが嫌だから絶対そのコーナーには行かないだろうと思っていたのですが、写真を見てびっくり！絵の具で遊んでいる！！帰宅後、夫にその写真を見せたら夫も「うちの娘絵の具で遊べるの??？」と驚いていました。学び合いの離れている時間で新たな発見をすることが多くありいつも新鮮な気持ちになります！
- ・最初は何をするんだろう？と思っていましたが、テキストを元に語り合うことで、他のお母さんの考えを聞くことができたり、子どもにとって大切なことは何かを学んだりできて素敵な時間だなと感じました。
- ・学び合いの間だけ母子分離の練習ができるのも母にとっても子にとってもありがたいです。
- ・学び合いの最中は、いろいろと考えて話すので、整理できないこともあります。家に帰ってふとしたときに、みんなの言ってる言葉を思い出すことがありました。自分が考えないことを、話題として取り上げてもらって、それを考えるきっかけにもなるから、とてもいい時間だと思います。少し、子育てのことを予想できるようになりました。あ、あのときの、あれかな？と。
- ・母子分離をして、お互いの考えや感じている事を聞ける貴重な場だと思います。
- ・入門2、日本におけるプレイセンターで、お金を払って専門の先生に子どもの教育を任せるという傾向があること、子どもと四六時中一緒に育児が孤立している、など、自分が目の当たりにした状況だな、と思いました。楽しく子育てをしたいと思っても行き詰まって投げ出してしまいたくなるくらい、自分の思うようには子どもは成長しなくてつらい時期がありました。学び合いでは、他のお母さんの話を聞いて勉強になったり共感できて、私はこうしていこうかな、と自分の考えをまとめる良い時間になっています。
- ・好きなことを話すだけではなくて、同じテーマでみんなで話し合うと新たな視点がみえてきて面白いと思いました。
- ・12月、遊びの学びでは子どもの遊びを親が限定しないことや、親が遊ぶことが下手で親自身がもっと遊びを楽しむことが大切だと言うことはとても良い学びになりました。
- ・まだあまり参加していませんが、周りに子育てについて話す人、聞く人がいないので、このような場があることは助かります。

## 子育て講座

- ・にじっこのメンバーが司会をしていたのが印象的でした。入会したばかりの人でも、役割に手を挙げやすい雰囲気を感じます。
- ・講演を聞くことはもちろん、その後にメンバーで振り返りをして、感じたことをシェアすることでさらに深まったので良かった。
- ・子育て講座は、申し込みしたにも関わらず予定と被ってしまったり、体調不良で参加出来ずでしたが、後日参加したメンバーにお話を聞いたりしました。またの機会に参加したいです。
- ・山本文子さんのお話で気がついたことは「性の問題」や「いじめ」「自殺」など別問題として考えてしまっていたけれど、全ては命を大切にすることに繋がるのだなということに気がつきました。後日「最近どう？」の会で講演会の感想を言い合う機会があったのですが、その時に「思春期に悩んで今までずっと引っかかっていたけれど文子さんのお話を聞いて過去の消化できなかった思いを消化することができた」と言っている方が複数いました。その言葉を聞き、子育て中の感受性の高さと講演会などの学びが、過去の抱えきれなかった感情を精算させることに繋がるのだな、子育てって自分の器を大きくする楽しさもあるなと感じました。
- ・どれも参加できていませんが、外部にも勉強の機会があるのはいいなと思います。
- ・スマホの講座に参加しましたが、幼児期だけでなく思春期まで長い目線での関わりかたを教えてもらえたので、とても参考になりました。



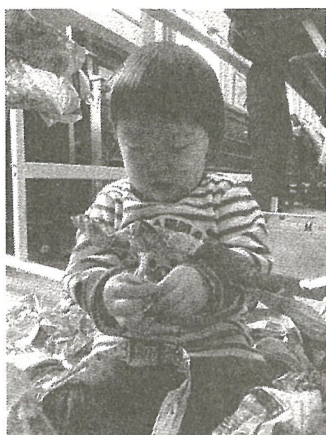
・やはり、対面して、人と話をしたり、聞いたりするのは、素晴らしい！書籍や、ネットとは、熱量が違う！！とシンプルに思いました。内容もきちんと残りました。これから、少しずつ実感しながら生活していくのだと思います。

・とくに山本文子さんの講演会は人生が変わる程良い経験をさせていただきました。

・山本さんの公演で、「子どもをいっぱい抱きしめて」というのが印象に残っていて意識して子育てをするようになりました。

・全て、日常のふとした時に思い出すので、とても印象深い講演だったのだと思います。

・子どもとスマホとの関係については悩むところもあったのですが、使用すること自体を否定するのではなく、気を付けるべき見せ方や時間を管理すること等、具体的な方法も知れて良かったです。



## 子育て相談会

・にじっこに通っている子だけでなく、兄弟のことも親身になって温かく聞いてくださったので、それだけで気持ちが軽くなりました。ありがとうございます。

・松岡先生の相談会、有料でも構わないのでまた再開していただきたいです。我が子の相談はもちろん、他のお母さん達の相談に対してのお言葉もとても参考になります。

・一度も参加したことがないので書けません…。松岡先生がどのような方なのかまず知るところからはじまります。

・参加したことはありませんが、皆さんが「すごく良かった!!」と言っていたので一度参加してみたいです。

・にじっこでなく赤ちゃんの日にお会いしましたが、今の出産、子育て情報を分かりやすくパワフルに伝えてもらえるので、いつも発見と勇気をもらっています。

・松岡先生は、2ヶ月前にお話ししたことも覚えていてくださって、それだけでとても安心感がありました。もちろん専門家なのですが、私は身近に親戚が住んでいないので、そのような感覚でお話しできました。少し先のことを予測したりしながらお話ししてくださるのがありがたく、なぜそれが大事なのか、というお話がとても参考になりました。成長の過程を一緒に楽しんでくださってる気がして、とても嬉しかったです。

・個人的には、夜泣きぐらいしか相談してないのですが、皆さんの悩みと返答を聞いているのは凄く勉強になりました。カンパ制でも復活できたら良いなと思っています。

・2回参加予定でしたが、子どもの体調不良で参加できませんでした。松岡先生に会って子どもの話をきいたり相談してみたいです。

・月日が経っても我が子のことを覚えていてくださり、専門的な立場から勇気づけてくださるので、とても大きな存在でした。

## 森のにじっこ

・寒い日や悪天候の日も、事前に「数分だけでも」「こんな準備をして」などアナウンスがあったことで楽しめました。スタッフの皆さん、事前に打ち合わせしてくださったリーダーの皆さん、ありがとうございます。



・はぐく一むの森歩きはあまり興味を示さない様子だけど、はぐく一む自体はとても好きようで広い敷地内をのびのびと楽しそうに駆け回っているのをみると連れてきてよかったなと感じます。自然いっぱいな環境で親も癒される場所です。

・森遊びをしてから娘の歩くスピードが早くなった。

・みんなで行く事で他の親子の森の楽しみ方を見たり、自然の中を満喫できて母も息子も毎回楽しみにしています。土日のイベントだと参加できないので少し残念ですが、にじっこでの森の日をこれからも楽しもうと思います。

・ひとりではなかなか自然体験に連れていくことができませんが、仲間がいてくれると行こうと！と思えてとても助かってます。

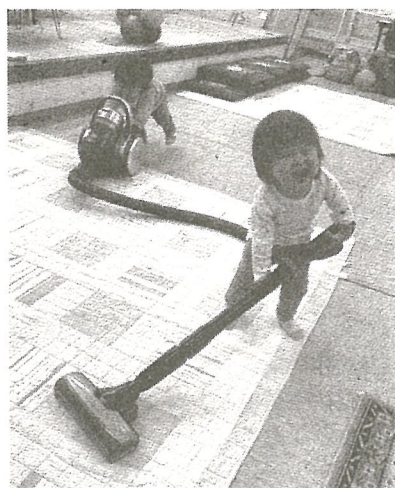
・今年は、日月さんのお話を聞いたことが自分にとってもとても大きかったです。森は大好きでしたが、森との距離感には常に悩んでいました。子どもは、常に自由にさせるのみだったので…これでいいのか…と。でも、日月さんのお話を聞いて、納得しました。うちの子どもは、はぐく一むに育ててもらった！と思っています！1人では中々行きづらい森ですが、皆と行くととても楽しいです。子ども達のいきいきした表情を見るのが楽しいです。また、日月さんとコラボ出来たのもとても良かったです。おさんぽや森の危険についてなど、とても勉強になりました。

・みんなで森へいくと、暑くても寒くても、毎回楽しいです。子どももののびのび遊んでいて癒やされます。

・夏の蚊が大量発生している時は蚊があまりにもいたので子どもがたくさん刺されないか心配でした。

・はぐく一むは、子どもにしたら宝の山のようなようです！今では、森に行く！と、にじっこのない日も当たり前に行き先のひとつです。笑 自分で何かを見つけようと働きかけたり、危険を感じたり、ちょっと勇気を出してみたり…と、いろんなことを育ててくれる場所でした。

・全然外で遊びたがらないわが子を好きのように温かく関わって貰えて、「せっかくはぐく一むに来たんだから外で遊ばせたい！遊ばせなければ！」と言う親のエゴを押し付けずに、子どもはとっても楽しく室内遊びを満喫できてたこと。ありがたかったです。



## 預かり合い

・自身の子を見守ってもらえたことは大変満足で感謝しておりますが、イヤイヤ期や赤ちゃん返りと2人子育ての大変な時だったので、他の子の預かりに十分にかかわることができず申し訳ない。メンバーでも見守り方や分担を明確にできると良いなと感じました。

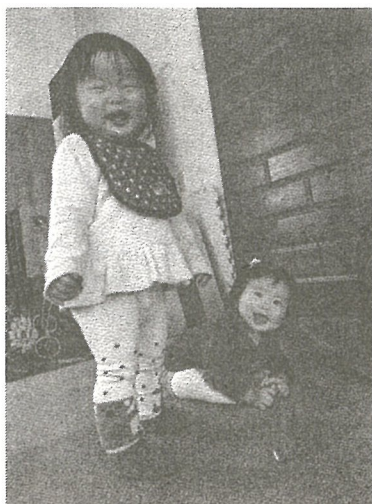
・今年度、初めて預かりをお願いしたのですが、泣かずにみんなとのびのび楽しんでみたいで我が子の成長を感じました。それから、にじっこだからこそ親も子ども安心して過ごせました。ありがとうございました！

・我が子はまだ体験していませんが、毎回預けられた子を見守り、迎えにきたお母さんにどんな様子だったか伝えているのを見て人に預ける練習にいい機会だと思いました。

・子どもの親離れの練習として、子どもがなれてるにじっこのみんなに預けられるのは、とても嬉しい機会です。その子の様子にもよりますが、もう少し長い時間だとお母さんのリフレッシュにいいのかなと思います。



- ・なかなか日程が合わず、預けられていません…一度は預けてみたいなあ、とみんなの様子をみて思っています。
- ・今年は見守る側で何度か参加しました。親がいない中での、その子のいつもと違った表情や成長が見られるのがとても嬉しいです。
- ・まだ参加できてません…
- ・「人の子どもをみんなで預かる」という構図が、誰か1人に負担がいくわけでもなく、とても素敵な預かりだなと感じました。預けたママさんも、わが子の頑張りや自分がいない中でのわが子様子を聞けて嬉しそうだったのも印象的です。
- ・急な預かりにも対応していただき助かりました
- ・一時保育は混みすぎてなかなか予約できないし、ファミサポもなかなか気軽には預けられないので、とてもありがたく、ぜひ利用したいです。



## 協働運営

- ・自分が出来る範囲で無理なくにじっこへ貢献出来たかなと思います。夏祭りの折り紙制作など楽しかったです。
- ・ただ行って遊ぶ支援センターのようではなく、母達が交代で代表になり、したい事を提案し形にして活動に参加できるのはいいなと思いました。
- ・ただ参加するだけでなく、運営に携われるのはにじっこにしかない魅力ですし、子どもと大人が一緒に楽しめるきっかけにもなっているように感じます。代表をやってみて最初は子どもの年齢に合わせた遊びを考えるのが難しいと思いましたが、子ども以上に親が楽しんで遊んでいると、多少遊びの対象年齢が高くても子どももつられて遊ぶという気になるのかなと感じました。親が楽しんでいる姿を見せるって大事ですね。
- ・できることをやる。ですが、その中でも、やってあげたい！という思いがあふれていて、少し無理かな！？ということにもチャレンジしている姿もとても素敵でした。無理なく続いていくために、みんなで助け合おう、という気持ちが自然と広がっていて、私もとても助けられたし支えられたなあと振り返りました。とにかく、みんなが子どもを大切に思う力を感じることができました。
- ・今年は代表も経験し、企画する側になり、さらに深くにじっこを知る事が出来とても良かったです。お客さんではなく、それぞれが強みを活かして参加し運営していくのはとても良いと思います。
- ・総会はとても良い時間でした。改めてみんなの思いや考えを聞いて自分も話して共有できるのが良かったです。
- ・代表をやってみて、子どもや自分の体調不良などで、なかなか思うようには参加できなかったな、と思っています。それでも、楽しかったなと思うので、みんなに経験してほしいなと思っています。
- ・常にメンバーが入れ替わり、変化する中にあることが、にじこの良さだと感じるようになりました。常に新しい変化が生まれるからです。一方で、変わらないこと、大切にしていきたいこれまでの積み重ね？のようなことを、常に共有して確認していくことも大切なのだと感じました。（当たり前になっているけど、人が入



れ替わることで曖昧なことなど）森の活動や、預かり合いについて、写真のことや、乱暴な行為に対してどう対処するのか、机の上に乗るのはどう声をかけようか、など、小さなこともみんなで同じように見守ることが大事なな、と感じました。代表が変わるタイミング、総会のタイミングなどでこまめに共有することが大切かなと思います。小さな基本的なことですが、ここに集う子どもたち、親たちの安心にもつながるのかなと思います。

・親たちが運営を人任せではなく自分達も参加することで、「この場をもっとより良いものにしたい」という気持ちも芽生えて、問題に対する話し合いや「こんなこともしてみたい」が出来る素敵な環境を作れているのかなと感じています。

・今回、初めてにじっこ総会を経験しました。自分の想いを話せて、みんなが普段思っていることを聞くことができて、とてもいい時間を過ごせました。それまで自分が少しまだにじっこに打ち解けていない気持ちがありましたが、ここで一気に気持ちがほぐれて、にじっこが大好きになりました。



## 自由記述

・よかったこと…数えきれない程ありますが、一番は私たち家族にとって安心出来る居場所が出来たことです。にじっこは、ほんとうに実家みたいに居心地が良くて温かい場所です。転勤で帯広に来たときは不安でいっぱいでしたが、にじっことの出会いで日々幸せな環境で育児出来ているなあと感じています。にじっこは、これからたくさんの親子たちの救いになると思っています。これからもこの大好きな大切なにじっこをみんなで創り上げて繋げていきたいです。

・書きたいのですが睡魔に負けました…

・最初の頃、「無理はしないでね」とさりげなく声をかけてもらえるのが緊張しい私にはとてもありがたかったです。今は緊張もなくなり、毎回親子で楽しみにして参加しています。

・自分以外の目があることで、1人では気がつかない子どもの成長に気がつけたり、子どもは他の子との関わりを通して何かを学べたりするので参加して良かったなと思っています。

・最近子どもが床を汚した時に雑巾の場所がわからない…と言ってるお母さんがいました。聞けばすぐわかることかもしれませんが、入会したときに「ここに〇〇があるよ、自由に使ってねー」という様な説明があると困った時に処理しやすいかなあと思いました。

・にじっこは親のことを下の名前で呼ぶので、入った初日から友達ができみたいと驚きました。子ども同士のケンカも見守れる関係は子どもにも親にも貴重です。こんないい場所があるんだと広く伝えたい気持ち半分、人が多すぎない感じが好きな自分半分です。(支援センターはどこも混みあっていて窮屈な印象です。)

・入って良かったです！子どもにも、私にも、本当に大きな出会いでした！何より、子どもの表情が違います。喜怒哀楽。気持ちを表に出せる安心感は、この時期ほんとに大切なんだなあ、と改めて思いました。以前にまんまるに書いてあった「ななめの関係」という言葉が今も記憶に残っていて、それってとても大切な関係性だなあ、と思いました。子どものネットワークがぐーんと広がった気がします。そして、シンプルに、私も子育てが楽しくなりました！ありがとうございました！



・とにかく、子育てが楽しく、毎日が楽しく過ごせているのはにじっこのおかげです。元々グループ交際は苦手なのですが、にじっこは大丈夫。皆さん優しく素敵なお方達ばかり♪孤独に子育てしている方もいるんだろうなあと考えると、合う合わないはあると思うけど、にじっ子に入ってくれたらなぁと思います。そして、色々な事を学ばせて頂いてありがとうございます！学びの機会があるのもとても有難いです。

・にじっこは、失敗やうまくいかないことも受け止めて共感してくれる、懐の深い温かい場所だな、と感じています。

・入って良かったです！！エピソードはありすぎて…この環境が当たり前ではないので、感謝しかないのですが、誰にとっても当たり前にあって欲しいと願うような場所でした。私は周りの人に紹介するという地道なことしかできていませんが…もっと広めたい！個人的には、文章より言葉より、みんなの活動をまだ見たらにじっこの活動はよく伝わる！と思うので、図書館のスペースや、どこかのスペースをかりて、みんなが日ごろ撮った写真をつかって、“にじっこ写真展、をやったらいいのに！！（個人の見解、誰にも確認ってません）”と思うほどです。もったいないです…とても素敵な場所で、当たり前になってもらいたい場所です！それほどにじっこ大好きです！

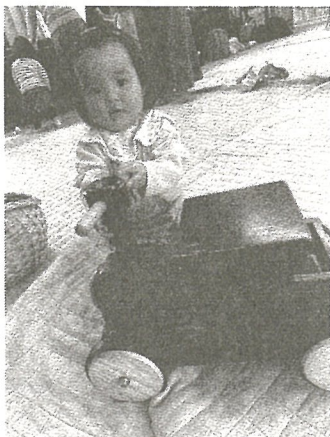
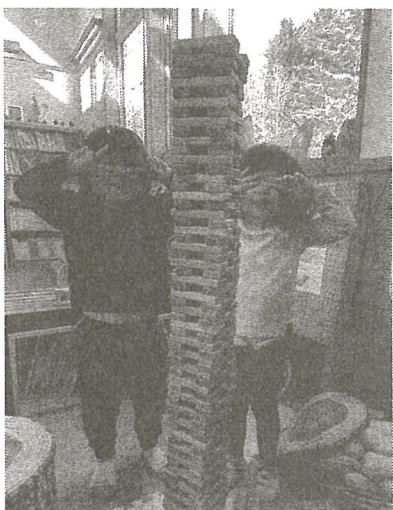
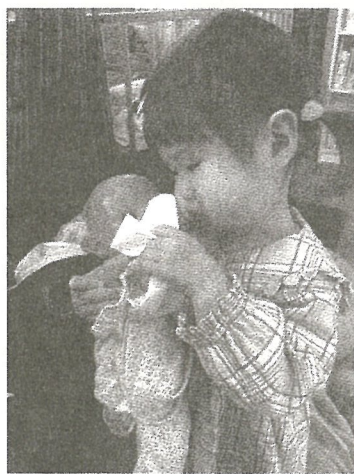
・親子ともに、安心して行ける場が出来たことを本当にありがたく思っています。参加時間も自由だし、必ず行かなければならない縛りもない。行って自分や子どもが無理をする必要もなく、ボーッとしたりのんびりして過ごすこともできる。

いつも自分が感じてしまいがちな「ああしなければ」「こうしてあげたい」みたいな気持ちが薄らげるので、とても子育てが楽になったし、居心地が良いんだと感じています。これからも、私と子どものペースで頑張りすぎず活動に参加したいと思っていますので、宜しくお願い致します。

・みんなが意見言い合って、自由に居心地が良い。

・今までは、支援センターなどどこに遊びに行っても、自分の子どもしか見ず、個々であそぶような感じだったので、少し寂しい感じはありました。自分も子どもの頃を思い出して、一緒にみんなであそべるぶれいおんの場がとてもありがたいです。これからもお世話になりたいと思います。

・にじっこに入って、外で遊ぶことが楽しいと思えるようになりました！これからも皆で森や外遊びをして楽しく過ごしたいです。







発行・編集

認定NPO法人 子どもと文化のひろば

**ぷれいおん・とかち**

〒080-2470

北海道帯広市西 20 条南 5 丁目 18-2

TEL/Fax 0155-36-0560 (平日 10-15 時)

メール [info@play-on-tokachi.net](mailto:info@play-on-tokachi.net)

LINE @playontokachi

H P <https://www.play-on-tokachi.net/>